

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

2021年2月1日
株式会社 **DTS**

第3四半期 連結業績

売上高は、デジタルテクノロジーの決算期変更影響に加え、運用基盤BPOセグメント以外の3セグメントで減収となり、前年同期比△51.1億円。

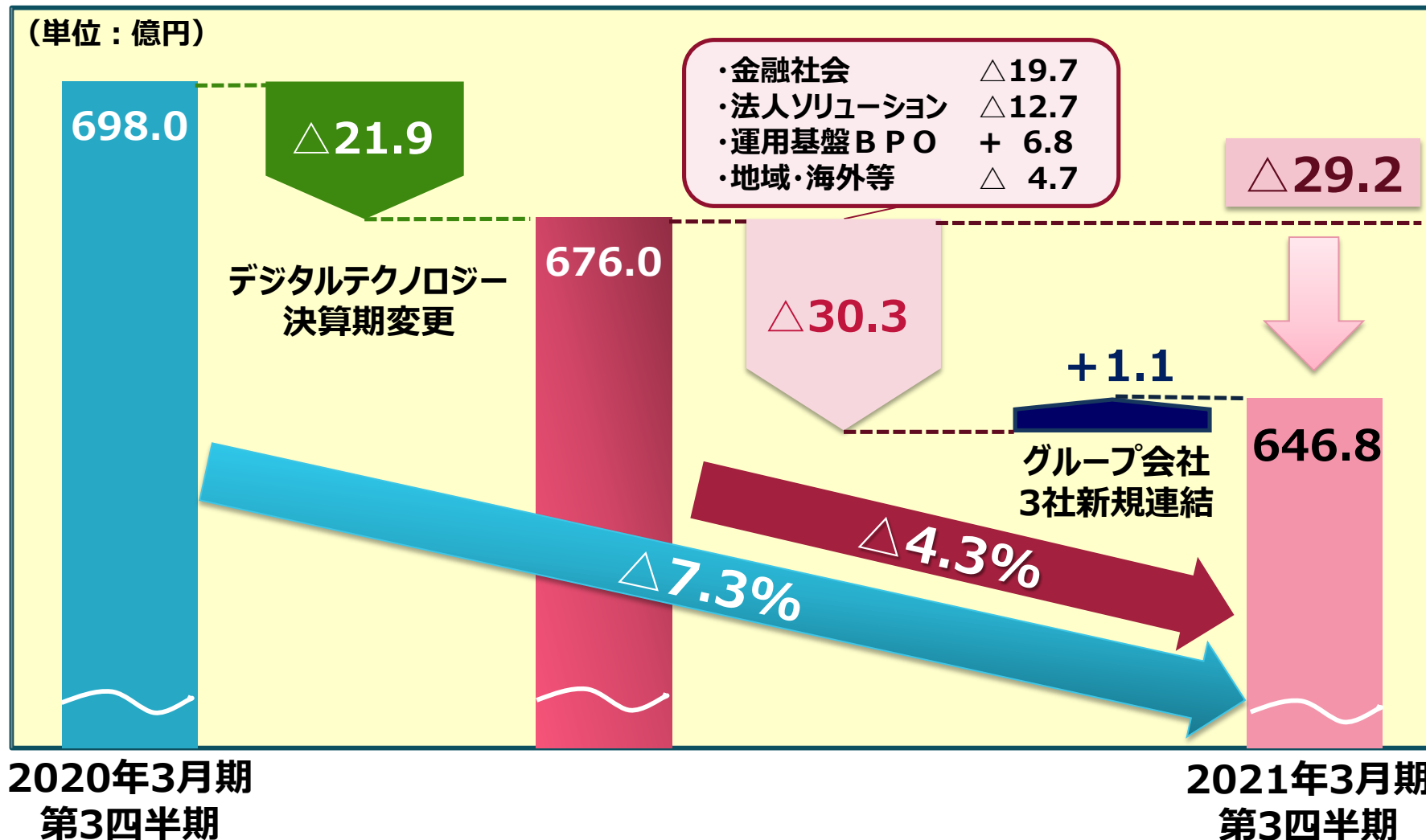
営業利益は、販管費の圧縮や不採算案件の抑制などに取り組み、第3四半期会計期間では増益となったものの、減収に伴う利益減などで前年同期比△2.7億円。

(単位:億円)	実 績	売上比 (前年同期比)	前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	646.8	—	△51.1 <△29.2>	92.7% <95.7%>	69.9%
売上総利益	127.1	19.6% (+0.1pt) <△0.1pt>	△9.0 <△6.3>	93.3% <95.2%>	71.4%
販管費	54.7	8.5% (△0.3pt) <△0.4pt>	△6.3 <△5.0>	89.6% <91.6%>	70.1%
営業利益	72.4	11.2% (+0.4pt) <+0.3pt>	△2.7 <△1.3>	96.3% <98.2%>	72.4%
経常利益	74.6	11.5% (+0.6pt) <+0.4pt>	△2.0 <△0.5>	97.3% <99.2%>	73.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50.7	7.8% (+0.3pt) <+0.2pt>	△1.7 <△0.7>	96.7% <98.5%>	73.5%

(参考) 第3四半期 売上高増減要因

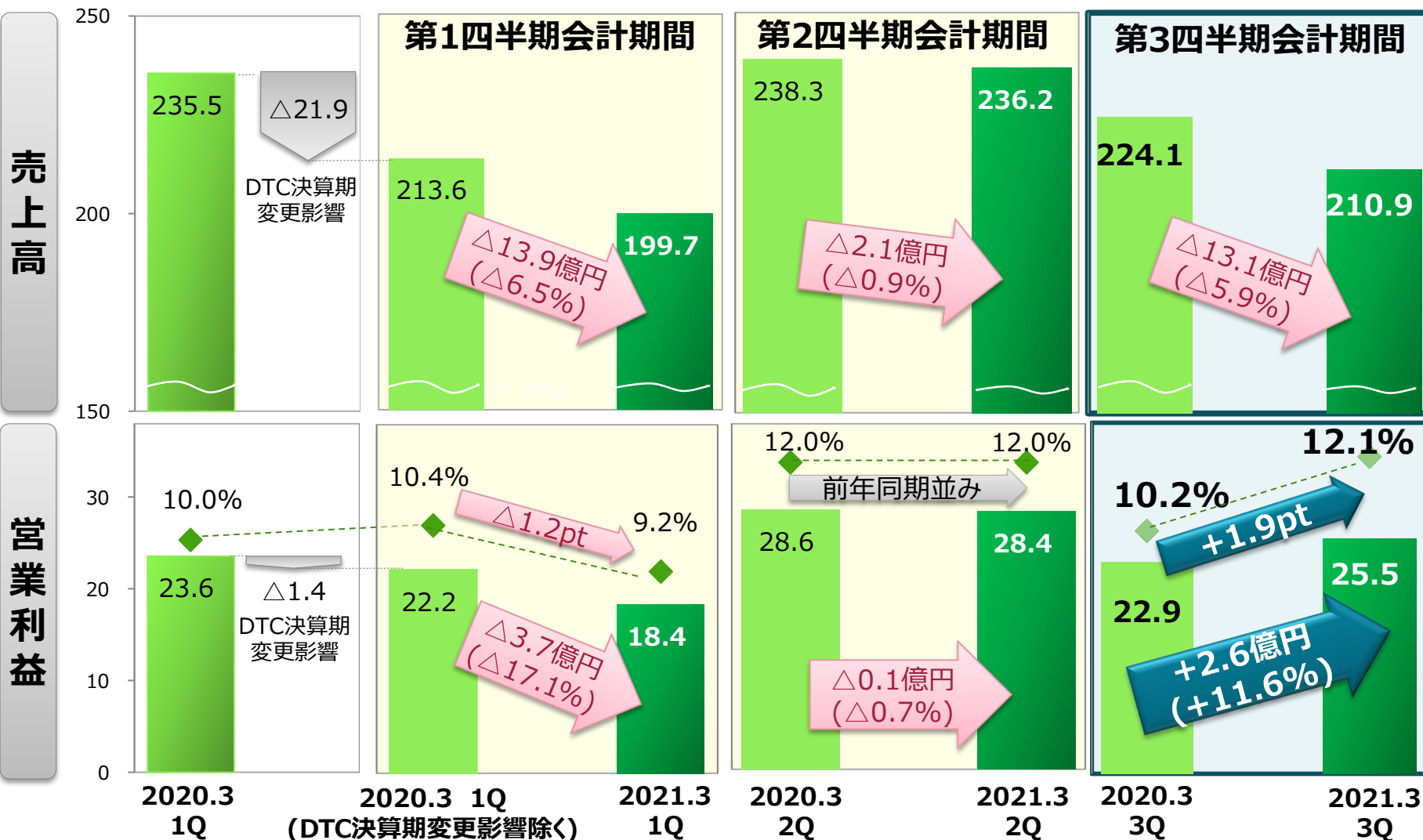
デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除いた場合、前年同期比△29.2億円（△4.3%）。

(単位：億円)



(参考) 会計期間 前年同期比較

第3四半期会計期間では、営業利益が前年同期比でプラス転換。営業利益率は12.1%（前年同期比+1.9pt）となり、過去最高を更新。



第3四半期 個別業績

売上高は、社会分野や運用BPO分野が増収となったものの、金融分野の減収などにより、前年同期比△22.5億円。

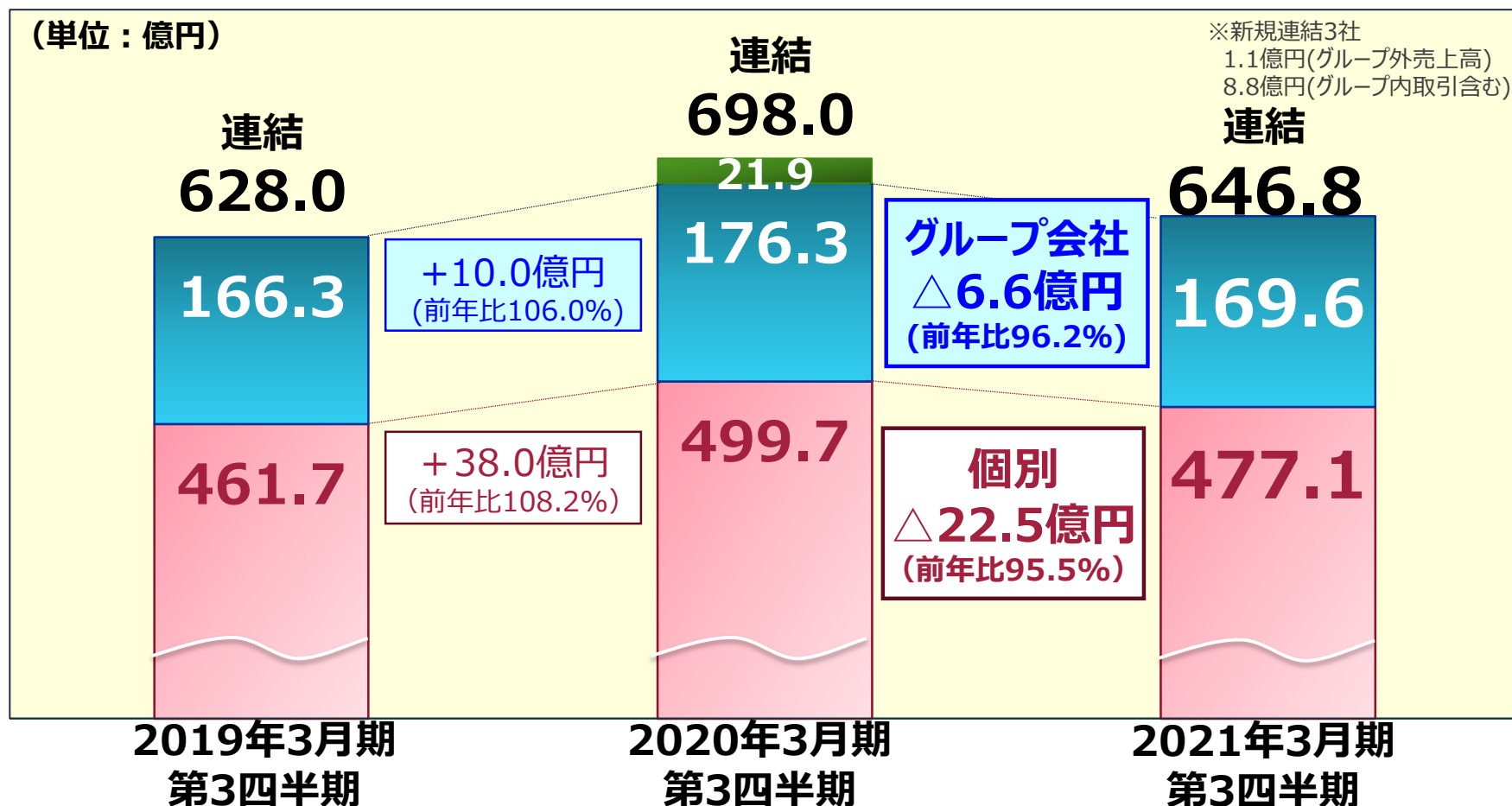
営業利益は、減収に伴う利益減少を主要因として前年同期比△3.3億円となったが、営業利益率は前年同期並みを確保。

(単位:億円)	実 績	売上比 (前年同期比)		前年同期比	
売上高	477.1	—		△22.5	95.5%
売上総利益	95.0	19.9%	(△0.1pt)	△4.8	95.2%
販管費	35.4	7.4%	(+0.0pt)	△1.5	95.9%
営業利益	59.5	12.5%	(△0.1pt)	△3.3	94.7%
経常利益	65.8	13.8%	(+0.0pt)	△2.9	95.8%
四半期純利益	46.5	9.7%	(+0.0pt)	△2.1	95.6%

売上高の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、公共系のシステム開発案件などが堅調に推移したものの、証券の大型案件ピークアウトによる反動減で、前年同期比△22.5億円。
グループ会社は、組込み分野や地域分野の減少等で前年同期比△6.6億円。

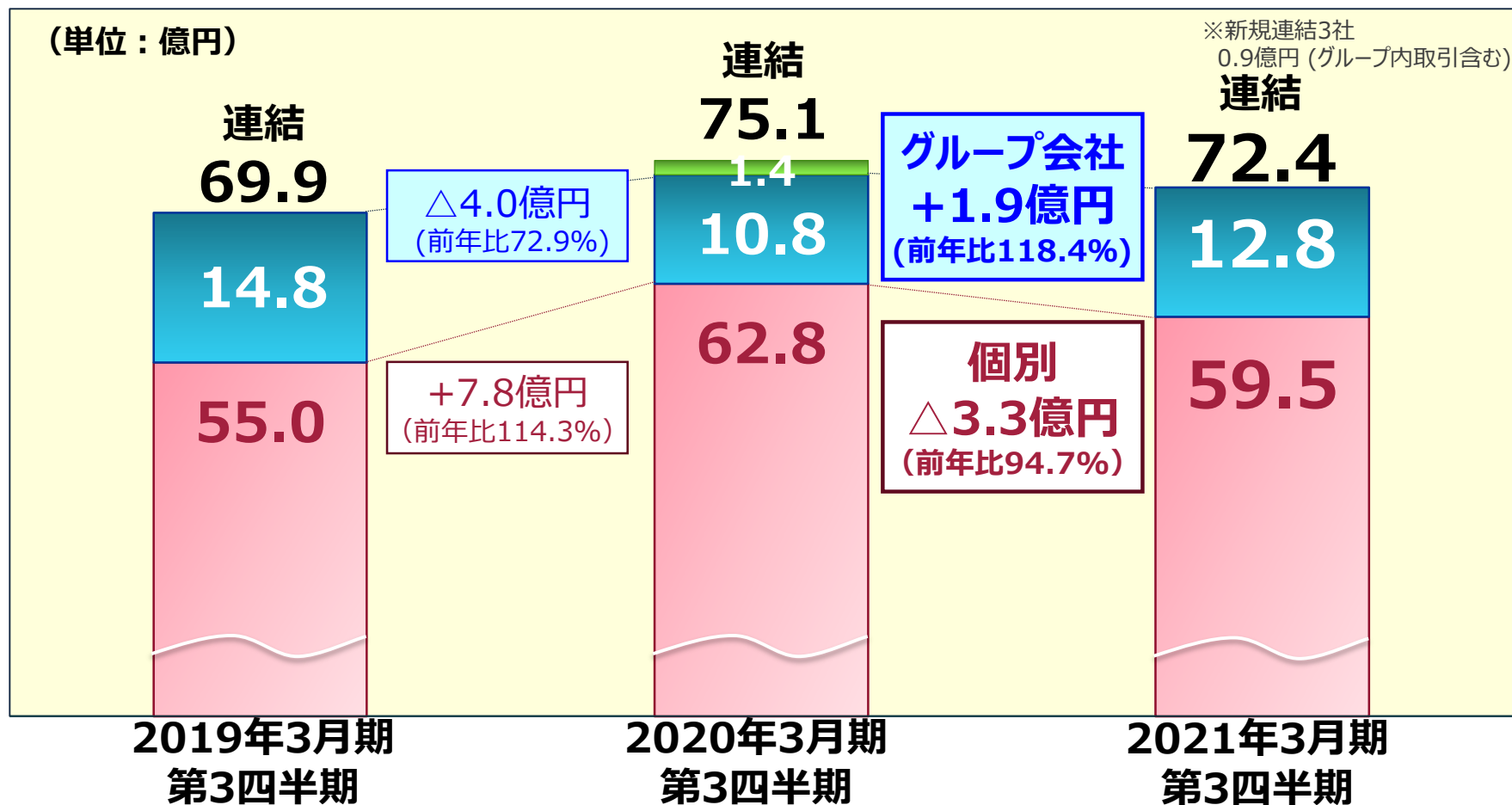
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高（連結調整含む） ■ DTC決算期変更



営業利益の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、減収に伴う利益減などにより△3.3億円。
グループ会社では、新規連結効果やNelito Systemsにおける構造改革の推進が奏功し、前年同期比+1.9億円。

■ 個別営業利益 ■ グループ会社営業利益（連結調整含む） ■ DTC決算期変更



第3四半期 セグメント別売上高

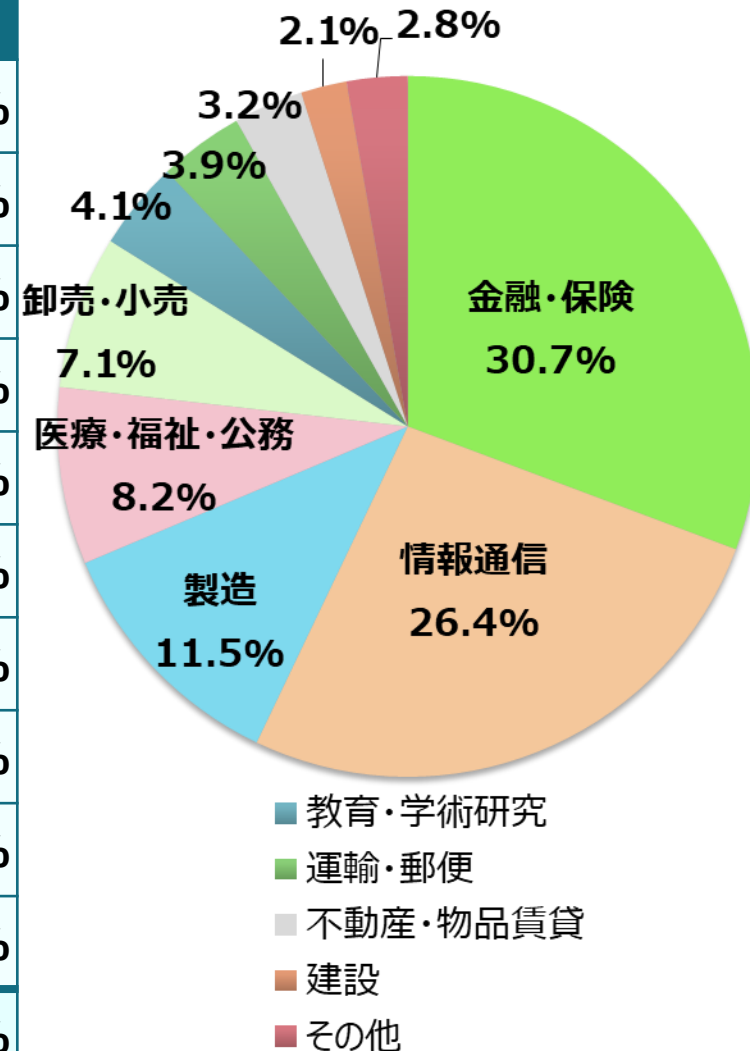
- ・金融社会は、公共系は堅調に推移したが、メガバンクの投資が減少し、減収。
- ・法人ソリューションは、組込み関連事業や住宅系の開発案件減少などで減収。
- ・運用基盤BPOは、DTC決算期変更影響を除いた場合、プロダクト販売が伸長。
- ・地域・海外等は、地域会社における金融案件縮小などで減収。

(単位:億円)		実 績	売上比（前年同期比）		前年同期比		業績予想に 対する進捗率
売上高		646.8	—		△51.1 <△29.2>	92.7% <95.7%>	69.9%
	金融社会	211.5	32.7%	(△0.4pt) <△1.5pt>	△19.7	91.5%	71.2%
	法人 ソリューション	186.1	28.8%	(+0.3pt) <△0.6pt>	△12.7	93.6%	70.9%
	運用基盤BPO	173.7	26.9%	(△0.2pt) <+2.2pt>	△15.0 <+6.8>	92.0% <104.1%>	68.2%
	地域・海外等	75.3	11.7%	(+0.3pt) <+0.0pt>	△3.6	95.4%	68.2%

(参考) 第3四半期 業種別連結売上高

経済産業省による業種分類別売上高

(単位：億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	198.6	30.7%	△ 35.2	84.9%
情報通信	170.7	26.4%	△ 0.2	99.8%
製造	74.5	11.5%	△ 9.2	88.9%
医療・福祉・公務	52.8	8.2%	△ 2.6	95.2%
卸売・小売	45.7	7.1%	△ 0.2	99.4%
教育・学術研究	26.3	4.1%	+ 13.2	200.7%
運輸・郵便	25.3	3.9%	△ 1.1	95.8%
不動産・物品賃貸	20.7	3.2%	+ 9.3	181.7%
建設	13.6	2.1%	△ 3.2	80.6%
その他	18.1	2.8%	+ 0.3	102.1%
合計	646.8	100.0%	△ 29.2	95.7%

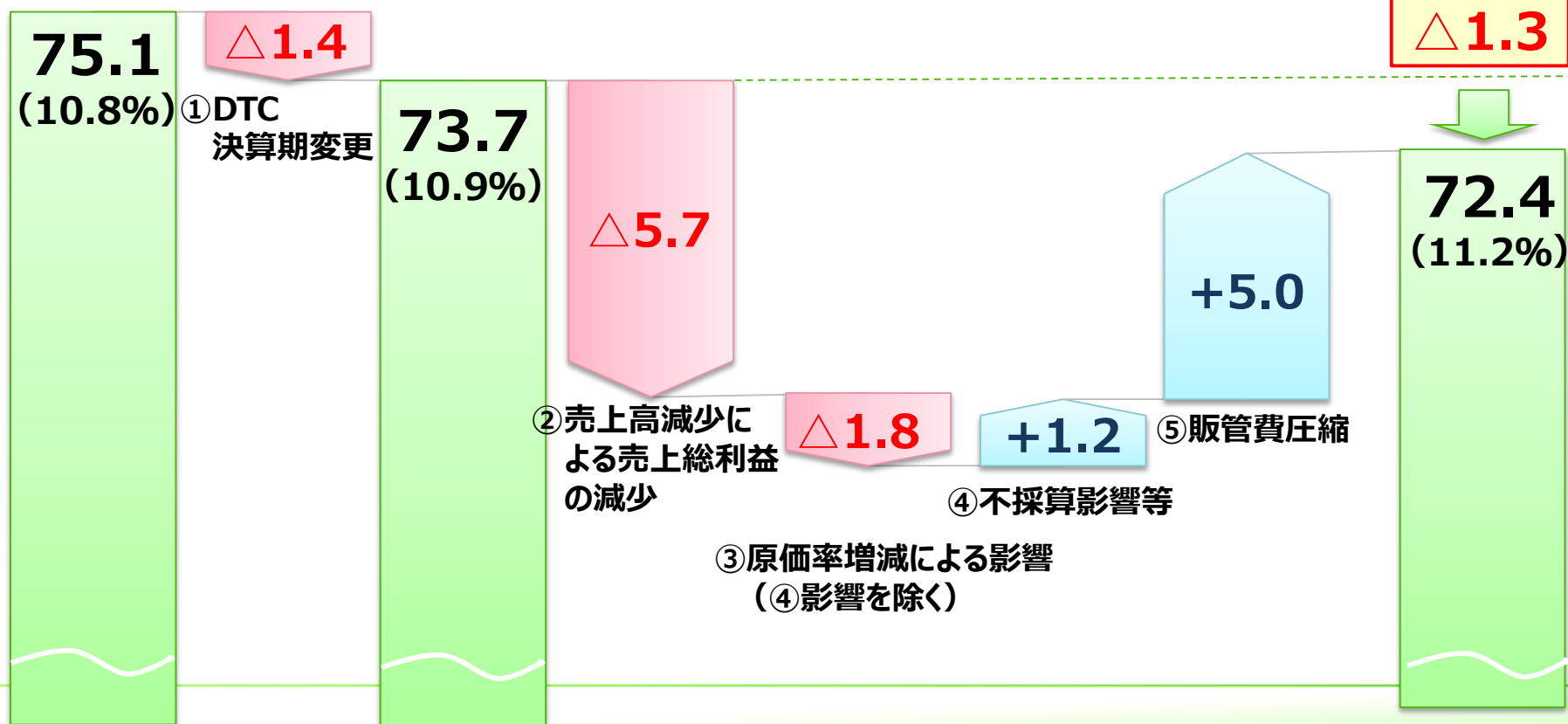


(デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除く)

第3四半期 連結営業利益の増減要因

販管費圧縮や不採算案件の抑止に取り組んだものの、売上減少に伴う利益減少のカバーには至らず、前年同期比△1.3億円。

(単位：億円)



2020年3月期
第3四半期

2021年3月期
第3四半期

第3四半期 セグメント別受注

【受注残高の状況】

- ・金融社会は、公共系のシステム開発案件増加などで前年同期並み。
- ・法人ソリューションは、クラウド関連案件は堅調に推移したが住宅系のピークアウトで減少。
- ・運用基盤BPOは、研究機関や教育機関向けプロダクト案件などにより増加。
- ・地域・海外等は、地方自治体案件縮小などにより減少。

(単位:億円)		受注高				受注残高			
		実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
連結		465.4	—	△60.5 <△44.1>	88.5% <91.3%>	225.0	—	+5.6	102.6%
金融社会		135.8	29.2%	△11.9	91.9%	70.9	31.5%	+0.1	100.2%
法人 ソリューション		169.8	36.5%	△21.1	88.9%	59.1	26.3%	△5.9	90.9%
運用基盤 BPO		84.7	18.2%	△20.5 <△4.2>	80.5% <95.3%>	64.9	28.8%	+15.4	131.3%
地域・海外等		74.9	16.1%	△6.8	91.6%	30.0	13.3%	△3.9	88.3%

(参考) 主なニュースリリース等①

公表日	会社名	タイトル・概要
2021年		
1月13日	D T S W E S T	非接触型タッチパネルを利用した観光案内板の実証実験を開始 株式会社パリティ・イノベーションズの「パリティミラー®」を利用し、従来のパネルに接触して操作する案内板を、接触することなく空間上で操作できる機器として開発したもの。実証実験では、来園者が非接触型観光案内板を操作することにより、その操作感や安全性を体験することが可能。 (実証実験期間：2021年1月13日～2月17日まで)
2020年		
12月7日	D T S W E S T	AWSのAPNコンサルティングパートナー セレクトティアに認定されました アマゾン ウェブ サービス(以下AWS)のパートナープログラム「AWSパートナーネットワーク(APN)」において、「APNコンサルティングパートナー・セレクトティア」に認定されました。
11月30日	D T S	DTS Group REPORT 2020（統合報告書）を掲載 統合報告書（2020年度版）を発行、当社ウェブサイトに掲載。
10月30日	D T S	業績予想修正に関するお知らせ 2020年4月30日に公表した業績予想を修正。（売上高：925億円、営業利益：100億円）
10月21日	D T S	健康優良企業「金の認定」を取得 2019年12月に「健康企業宣言 Step2」を宣言し、健康経営における職場の健康づくり及び安全衛生に取り組んだ結果、認定基準をクリアし、2020年9月、「金の認定」を取得。

(参考) 主なニュースリリース等②

公表日	会社名	タイトル・概要
2020年		
10月15日	D T S W E S T	東京大学史料編纂所様・奈良文化財研究所様をはじめとした機関間連携による「史的文字データベース連携システム」が公開されました 「木簡・くずし字解読システム—MOJIZO—」「木簡庫」についてのシステム開発、奈良文化財研究所様の画像データベースの基盤構築に続き、「史的文字データベース」についてもポータルサイト構築等の部分で技術協力した。東京大学史料編纂所様、奈良文化財研究所様をはじめとする国内外の6機関がそれぞれ保有している画像データベースから他機関を横断して画像を検索・呼び出した画像を一覧で表示するポータルサイトを構築。
10月7日	D T S W E S T	フェリス女学院大学様においてkotosoraを活用したAIチャットボット「Ferris Chat」が公開されました フェリス女学院大学様では、学生からよく聞かれる質問や定型質問に対する回答を、従来の方法（窓口来室・学内QA機能）だけでなく、誰でも簡単に解決できる方法を新たに提供することを目的として、kotosoraを活用したAIチャットボット「Ferris Chat」を導入。本システムの導入で、24時間365日知りたい情報へアクセスが可能。学生の利便性向上と共に、回答に要する時間削減による職員の業務効率化にも期待。
8月6日	D T S	クレジットカード情報非保持化を支援するBPOサービスをリニューアル、提供開始 PCI DSS Ver3.2.1に完全準拠する自社セキュリティサポートセンターでは、これまでクレジットカード情報の取り扱いをメインとしてきましたが、8月1日より高セキュリティ環境を活用した口座情報やマイナンバー等の機微な情報の処理等の取り扱いを開始。新たなBPOサービスとしてリニューアルし、提供を開始。
7月1日	D T S W E S T	「kotosora for LGWAN」を活用した春日井市職員様向け自動応答システムの実証実験を開始 総合行政ネットワーク（LGWAN）対応AI FAQソリューション「kotosora for LGWAN」を活用した春日井市職員様向け自動応答システムの実証実験を開始。（期間：2020年7月1日～8月31日）
6月15日	D T S	自己株式の取得状況および取得終了に関するお知らせ 取得総数：444,100株、取得総額：999,798千円 期間：2020年5月1日～6月12日

(参考) 主なニュースリリース等③

公表日	会社名	タイトル・概要
2020年		
5月18日	デジタルテクノロジー	Druva社とディストリビュータ契約、テレワーク環境のエンドポイント保護を提供 クラウドデータ保護および管理のリーダーであるDruva Inc. (本社：米国)と販売代理店契約（ディストリビューター契約）を締結。シンプルかつ費用対効果の高いサーバー向けバックアップ、クラウド時代におけるエンドポイントのデータ保護やセキュリティが求められるようになった背景から、DruvaのPhoenixとinSync製品をラインナップに加え、サーバーだけでなくクラウドアプリケーションを含むエンドポイント保護のソリューション拡充を図る。
5月12日	D T S	会計監査人の異動に関するお知らせ 監査役会にて会計監査人の異動を行うことについて決議、5月14日取締役会にて、6月19日の定時株主総会に付議することを決議予定（6月19日開催の定時株主総会にて承認可決された）
4月24日	D T S	IoTとAIの力で製造現場のDX化(デジタル・トランスフォーメーション)を実現。製造現場向けIoT Platform『Pasteriot』を販売開始 製造現場のデジタル化を支援するIoT Platform「Pasteriot（パステリオ）」を4月24日より販売開始。メーカーが異なる製造機器においても生産状況のデジタル化が可能。また、製造現場の制御ルール化の設定やAI活用等により、業務効率化・生産性向上を実現。

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS Group

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。